

2022 年度

# 岸和田市ゆめみヶ丘 LPP



岸和田市ゆめみヶ丘 LPP では、放置竹林やアドベンチャーワールドのパンダの食べ残しにより  
使い道がなくなってしまった竹を有効活用し、人々が楽しみながら、SDGs に貢献する方法を追及している。  
今年度は、パンダに竹を提供している岸和田市ならではの観光的な価値をつくることを目的に、ツアー・商品企画に取り組んだ。

## ゆめみヶ丘岸和田

ゆめみヶ丘岸和田は岸和田市の丘陵地区に位置している。「人が元気で  
快適に生きがいを持って暮らせるまち」「活力があり地域を輝かせる産  
業があるまち」「地球と人にやさしい自然環境がある  
まち」の3つをコンセプトに、都市・農・自然が融合し  
た新しいまちづくりが進められている。



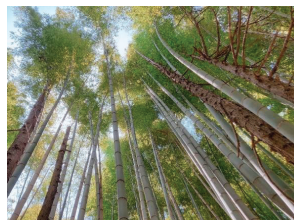
## ゆめみヶ丘岸和田とアドベンチャーワールド

岸和田市では竹の増えすぎによる環境・景観の悪化を防ぐため、2011 年から、ゆ  
めみヶ丘の竹林から切り出した竹をアドベンチャーワールドのパンダの食料として  
提供している。その後、2020 年には、パンダが食べ残した竹(パンダバンブー)を  
有効活用することによって竹を用いた循環型社会の実現を目標とした「SDGs パ  
ートナーシップ協定」を結んだ。

## 活動報告

- ミーティング: 岸和田市とアワーズを交え、それぞれの状況と今後の方針について話し合った。
- 視察: ゆめみヶ丘やその竹林を視察し、岸和田市とアドベンチャーワールドとの関わりや放置竹林の利用法に関する  
詳しい話を伺った。道の駅「愛彩ランド」や岸和田 SA など訪れ、岸和田の特産物がどのように販売されているのかを  
学び、地域の人々とのかかわりを通じてゆめみヶ丘にしかない良さを探求できた。
- アドプトフォレスト活動: アワーズの行っているアドプトフォレスト活動に参加した。竹の伐採見学や加工体験など貴重な経験ができた。

学生からの声:  
岸和田 SA では、岸和田市特有の  
お土産や、パンダに関連した商品が多く  
取り揃えられており、ツアーや商品を  
考えるうえで良い機会になりました。



## ツアー・商品企画

この LPP の活動目標に、「ゆめみヶ丘岸和田に立ち寄ってアドベンチャーワールドに行くような観光コースの実現」や、「ゆめみヶ丘岸和田やアドベンチャーワールドなら  
ではの価値の創造」というものがある。そこで、私たちはゆめみヶ丘にアドベンチャーワールドのファンを観光客として呼び込むツアーの作成や、ゆめみヶ丘岸和田の竹を  
利用した商品製作を、ツアー班、商品班の 2 グループに分かれて取りかかるとした。

なお、ニーズ調査や、アドベンチャーワールド側との話し合いはまだ行われていないため、試作段階である。

### ● ツアー班

パンダオフ会 in ゆめみヶ丘岸和田(仮名)

ターゲット層: アドベンチャーワールドのパンダのファン。

概要: 日中は、ゆめみヶ丘岸和田で、実際にパンダの餌となる竹を伐採したり、それを用いて世界に 1 つだけの限定パンダグッズを作成したりする。岸和田市と株式会  
社アワーズの取り組みを知ってもらう。また、夕方から夜にかけて、会食を通じてパンダのファンどうしの交流会を行う。可能であれば、パンダの飼育員などアドベン  
チャーワールド側の方々にも参加してもらい、講演やパンダたちの小ネタを話してもらえればと思う。ここでは、岸和田市産の食品を用いることによって岸和田市を PR  
する。

### ● 商品班

今回私たちが企画した商品は、「推しアニマルバンブーパステース」だ。

この商品は、年 4 回以上アドベンチャーワールドに訪れる年間パスポート保持者をターゲットにしており、推しのパンダ、動物達のモチーフや姿をあしらった竹製のパ  
ステースである。他のテーマパーク好きや、動物園好きの間で、年パスを保管するケースが人気である事に着目し、好きな動物のグッズを買う、いわゆる「推し活」がで  
きる商品にした。ツアー内でのイベントでは、この商品に追加でつけられるストラップを竹で作ってもらう。クラフトが簡単で手頃であれば、「竹ストラップ工作キット」の商  
品化も考えられる。

